

支援情報等のお知らせ

- 1) 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - ① 「進む道は必ず見つかる！一歩を踏み出そう！」を活用ください
- 2) 自立支援に関するイベント等の情報
 - ① ひきこもり家族教室「こんなときどうする？」
 - ② ひきこもり支援講演会「当事者とともに学ぶ発達凸凹学校」
 - ③ こども食堂ネットワークぐんま設立大会
 - ④ 高崎市「ひきこもりの理解と対応」
 - ⑤ 前橋市「ひきこもりと家族システム」
- 3) 民間活動団体等の紹介
 - ① NPO法人 じゃんけんぽん（高崎）

1 「進む道は必ず見つかる！一歩を踏み出そう！」を活用ください

思春期や青年期のさまざまな要因から、社会的自立の途中で立ち止まってしまう子ども・若者がいます。不登校やひきこもり状態が長期化することもあります。

支援協議会では、高校の中途退学、中学卒業後の進路未決定などで学校から離れてしまっている若者が、「自分で進む道を自分で決められるように」寄り添い支援を行っています。

この支援の仕組みを分かり易く紹介したリーフレット、支援を希望する方の同意書を、HPからダウンロードできるようになりましたので、活用をお願いします。

<http://smilelife.pref.gunma.jp/pc/youthdevelopment/shien/>

支援に関する問い合わせは、事務局まで連絡ください。

2 6/28 ひきこもり家族教室「こんなときどうする？」

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいる家族を対象に、家族教室を開催しています。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、皆さんの気持ちのゆとりを持つ機会にしませんか。

教室：6月28日（木）13:30～16:00
内容：こんなときどうする？
フリーム★カンパニー
こころの健康センター
会場：県こころの健康センター 会議室
連絡先：ひきこもり支援センター
専用ダイヤル 027-287-1121

詳細は、添付ファイルをご覧ください。

3 7/15 ひきこもり支援講演会「当事者とともに学ぶ発達凸凹学校」

ひきこもり経験者・家族が仲間とともに明るく前向きに歩き、学び・成長することを目的とする団体、KHJ群馬「はるかぜの会」ではひきこもり支援講演会「当事者とともに学ぶ発達凸凹学校」を開催します。

【ひきこもり支援講演会】

日 時：7月15日（日）13：30～16：30

場 所：県庁昭和庁舎 34会議室

講演会：「当事者とともに学ぶ発達凸凹学校」

～発達障害等を起因とする「ひきこもり」の対応方法とは～

対 象：ひきこもり経験者本人と家族、および関係者

講 師：NPO法人 楽の会リーラ 事務局スタッフ 大橋史信 氏

申込み、お問い合わせは下記電話までご連絡をお願い致します。

KHJ群馬はるかぜの会 080-9373-4760

KHJ全国ひきこもり家族会連合会の活動の詳細は、ホームページをご覧ください。

URL：<http://www.khj-h.com>

4 7/15 こども食堂ネットワークぐんま設立大会

県内で活動しているこども食堂同士の交流や、新たにこども食堂を始めたい人、行きたい人、手伝いたい人等のつなぎの場として、「こども食堂ネットワークぐんま」を設立します。下記のとおり設立大会を開催しますので、奮ってご参加ください。

【こども食堂ネットワークぐんま設立大会】

日 時：7月15日（日）13：00～16：30

場 所：群馬県社会福祉総合センター8階ホール

対 象：どなたでも参加できます

講 演：「子どもの居場所について～子ども食堂の活動から～」

講師／社会活動家・法政大学教授 湯浅 誠 氏

活動紹介：samitosu（高崎市）、うぬき子ども食堂（伊勢崎市）

みどり子ども食堂ふう（みどり市）

申込み、お問い合わせは下記電話までご連絡をお願いします。

こども食堂ネットワークぐんま設立準備会事務局

（県社会福祉協議会生活支援課内）027-212-0011

URL：<http://www.g-shakyo.or.jp/news/15186.html>

5 7/21 高崎市「ひきこもりの理解と対応」

「どうしたらいいかわからない」「何とかしてあげたいけど本人は何も言わない…」、本人に何が起きているのか、周囲にできることは何でしょうか。一緒に考えてみませんか。

【講演会】

日 時：7月21日（土）10：00～12：00
場 所：高崎市総合保健センター2階 第1会議室
講演会：「ひきこもりの理解と対応」
講 師：東京未来大学教授 臨床心理士 須田 誠 氏

申込み（7/13まで）、問い合わせは下記にお願いします。
高崎市 障害福祉課 027-321-1358

詳細は、添付ファイルをご覧ください。

6 7/23 前橋市「ひきこもりと家族システム」

前橋市では、「ひきこもりの若者の家族の教室」の一環として、
当事者・家族、関係者を対象とした講演会を開催します。

【家族教室（講演会）】

日 時：7月23日（月）14：00～16：00
場 所：前橋市保健センター4階 集団指導室
講演会：「ひきこもりと家族システム」～家族関係をとらえる～
講 師：合同会社ミックス相談室 代表
精神保健福祉士 山本 一生 氏

申込み（7/19まで）、問い合わせは下記にお願いします。
前橋市 保健予防課こころの健康係 027-220-5787

詳細は、添付ファイルをご覧ください。

7 民間活動団体等の紹介 認定NPO法人 じゃんけんぽん（高崎）

私たちは「子どもも高齢者もだれもが安心して暮らせる地域づくり」
に取り組んでいます。

「近隣大家族」は、いつでもだれでも気軽に立ち寄れる地域の交流ス
ペースで、高齢者、障がい者、幼児、学生など、様々な人と日常的に関
わることができる、みんなの居場所です。

夏休みには、自主学習の見守り支援や、ワークショップ・子ども向け
のイベントを開催しています。

その他、保育や自然体験活動なども実施中です。

詳細はホームページをご覧ください。
URL：<http://www.jankenpon.jp/kodomo/>



次号は、平成30年7月中旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

..... 群馬県子ども・若者支援協議会

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 子育て・青少年課内
- ▼ TEL 027-226-2393
- ▼ FAX 027-226-2100
- ▼ e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
- ▼ HP <http://smilelife.pref.gunma.jp>

平成30年度

ひきこもり家族教室のご案内

ひきこもり支援センターでは、ひきこもりに悩んでおられるご家族等を対象に、家族教室を下記のとおり開催いたします。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会としましょう。

- ・申込みいただき、**個別の相談をお受けした後に、必要に応じて教室をご案内**しています。
- ・支援者の方、ご家族同伴でのご本人の参加もお待ちしています。
- ・見学や参加を希望される方は、**下記連絡先までご連絡下さい**。

場所： 群馬県こころの健康センター 会議室

時間： 午後1時30分～午後4時00分

連絡先： ひきこもり支援センター（群馬県こころの健康センター内：前橋市野中町368）

「ひきこもり専用ダイヤル」 電話：**027-287-1121**

月～金 午前9時から午後5時まで ※年末年始、祝日は除く



【家族教室に参加すると】

- ・自分だけではない安心感
- ・選択肢が広がる
- ・気持ちに余裕ができる
- ・工夫できる場所が見つかる…等
ヒントが得られる機会になります。

家族の気持ちの安定が、
本人の気持ちにも影響を
与え、本人の状態が良くなる
という研究結果があります



*** 日程表は裏面にあります ***

平成30年度ひきこもり家族教室予定表

開催日	テーマ	講師
4月26日(木)	教室① 『ひきこもりの理解』	・群馬県こころの健康センター 大館実穂医師
5月24日(木)	教室② 『地域の社会資源について』	・アリスの広場 ・NPO法人CCM ・社会福祉法人明清会
6月28日(木)	教室③ 『こんなときどうする?』	・フリーム★カンパニー ・群馬県こころの健康センター
7月26日(木)	講座 『言葉を使って気持ちを伝える』	・群馬大学 浅見隆康医師
8月23日(木)	講座 『自分らしく生きたい!』	・NPO法人楽の会リーラ 大橋史信ひきこもりピアサポーター
10月25日(木)	教室① 『ひきこもりの理解』	・群馬県こころの健康センター 大館実穂医師
11月22日(木)	教室② 『地域の社会資源について』	・アリスの広場 ・NPO法人CCM ・社会福祉法人明清会
12月27日(木)	教室③ 『こんなときどうする?』	・フリーム★カンパニー ・群馬県こころの健康センター
平成31年 2月28日(木)	DVD上映会+座談会 NHK厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ『ひきこもりからの回復』	

* 教室は、前期（4月～6月）と後期（10月～12月）は同じ内容です。

* 講座は1回のみの内容です。



高崎市

こころの健康づくり講演会

ひきこもりの 理解と対応

「どうしたらいいのかわからない」「何とかしてあげたいけれど本人は何も言わない…」「親亡きあとのことが心配で」・・・お子さんなどがひきこもり状態のご家族から聞かれる言葉です。何が起きているのか、そして周囲の人ができることは何でしょうか。一緒に考えてみませんか。毎年大変好評をいただいています講師に今年も来ていただきます。

日時：平成30年7月21日(土)

午前10時～12時

場所：高崎市総合保健センター 2階 第1会議室

地図裏面参照

講師：東京未来大学

教授・臨床心理士

須田 誠 先生

定員：100名(先着)

費用：無料

**申し込み：平成30年7月13日(金)までに、
下記へ電話でお申し込みください。**

高崎市役所 障害福祉課

電話：027-321-1358

ひきこもりとは

「様々な要因の結果として社会的参加（義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊等）を回避し、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態（他者と関わらない形での外出をしてもよい）を指す現象概念」と定義され、20歳以上49歳未満のひきこもり者がいる世帯は全国で推計約26万世帯とも言われています（出典：平成18年度「心の健康についての疫学調査に関する研究」（厚生労働科学研究 主任研究者 川上 憲人 研究協力者 小山 明日香））。

参考：「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」

ひきこもりに対する支援

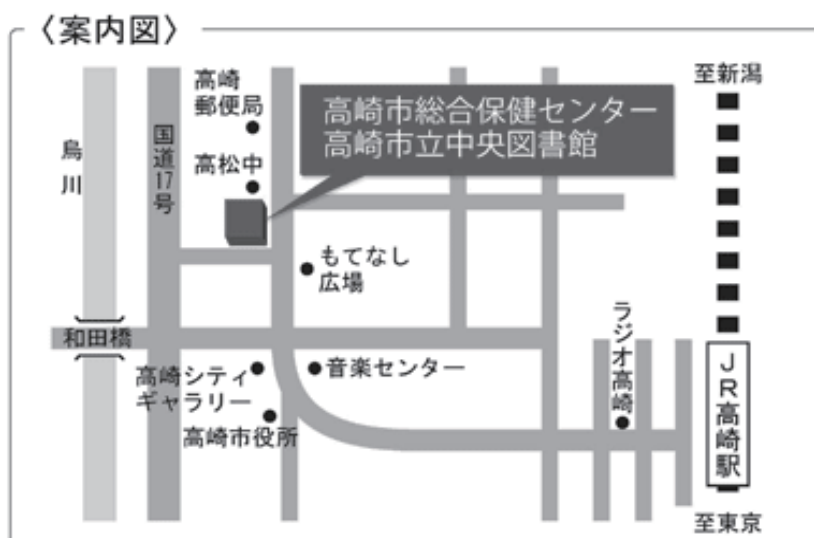
支援を必要とするひきこもりの中心にあるのは、こどもであれ、青年あるいは成人であれ、社会的な活動からの回避が長期化し、社会生活の再開が著しく困難になってしまった事例です。このような事例では、家族が見通しの立たない事態に大きな不安を抱えるようになっています。また、家庭内暴力や退行、不潔恐怖や手洗い強迫などが深刻化している事例、幻覚や妄想といった精神症状等、何らかの精神障害の症状が顕在化している事例では、家庭内の生活や人間関係さえも危機に瀕している場合もあります。いずれの場合も、精神保健、福祉、医療などからの支援を必要としています。

「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」より引用

〈お願い〉

質疑応答について：個別の具体的な相談はお受けできません。

講演の内容は「情報の1つ」として受け止めてください。



駐車場は建物西の立体駐車場をご利用いただき、駐車券を会場までお持ちください。



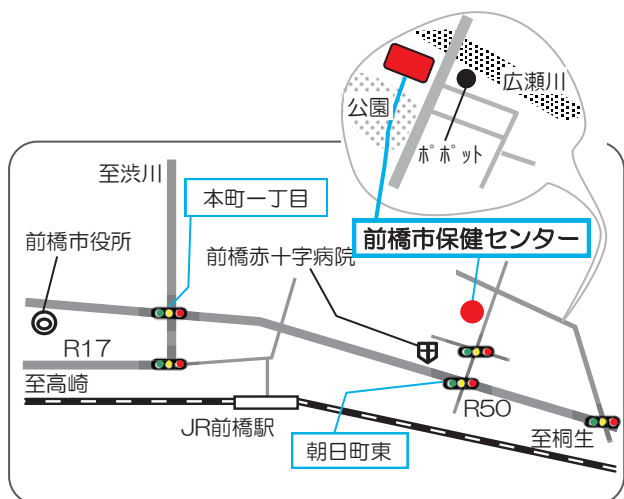
ひきこもりの若者の家族の教室

7 / 23 (月)

午後 2 : 00 ▶ 4 : 00

ひきこもりと家族システム

家族関係をとらえる



定員 先着60人
場所 前橋市保健センター4階
集団指導室
申し込み 下記までお電話下さい
申し込み期限 7/19(木)
保健予防課 こころの健康係
電話 027-220-5787